

そもそも、
「ふれあいまつり」
って、なに???

年に1回！ 手づくりのおまつり。
発表あり・展示あり・体験あり・・・

主にセンターで活動しているサークル、利用者の皆さんが日頃の活動や練習の成果を発表する場です。サークル、利用者の皆さんのご家族・お友だちや地域の皆さんにお披露目をする機会です。たくさんの方が「晴れの舞台」を心待ちにしています。

「ふれあいまつり」
って、どんなこと
やってるの???

フリーマーケット・模擬店・大抽選会も

発表・展示・体験の他、フリーマーケットや焼きそば・フランクフルト
駄菓子などの模擬店、最終日には豪華景品を含む大抽選会も開催します。
東京ディズニーリゾートのペアチケットは誰の手に?!

「中央本町ふれあいまつり」30周年 “みんな”が主役

「中央本町ふれあいまつり」は今年で30回を迎えます。延べ約6万人の方に来館していただきました。今日まで決して順風満帆に開催され続けてきたわけではなく、参加サークル数が減少したり、来館者数が減少したり、開催当日に雨が降った年が続いたなどありました。それでも、**今までご協力いただいた皆様のおかげで30周年を迎えられたと感謝しております。**

これまで、より多くの皆さんに愛される「ふれあいまつり」を目指して、サークルさんやご家族、お友だち、そして地域の皆さんと結束し、**みんなで考え、みんなで作り上げてきた「ふれあいまつり」。**センター職員も微力ながら協力させていただき感謝しております。**地域に支えられ、地域とともに歩んできた「ふれあいまつり」が地域の絆づくりのひとつとなれるよう今後さらなる発展・飛躍していくことを願ってやみません。**

11/9 (土)、10 (日)。
いよいよ、30回目の夢の見本市
「ふれあいまつり」堂々、開催。

昭和59年。現在の地域学習センターが「中央本町社会教育館」と呼ばれた時代、「中央本町体育館」と合同のおまつりとして「第1回中央本町ふれあいまつり」がスタートしました。当時、社会教育館に登録していた約60の「登録団体」の代表者の一部の人たちが主催し、登録団体の相互交流を図るのが目的でした。そして毎年回数を重ねるとともに、地域学習センターも現在は約90の登録団体が所属するまで拡大、さらに地域の皆さんの積極的な参加によって「地域最大の交流の場」として発展してきた伝統と歴史があります。

趣味や勉強を始めるのに遅すぎる年齢はありません。「何かをやってみたくなった」という気持ちを、「第30回ふれあいまつり」でぜひ味わってみてください！毎年、新たな発見に出会えます・・・。

地域のお店、農園、学校との連携や
ボランティアさんの強力サポートも・・・

地域の皆さんの協力があるからこそ、ふれあいまつりが大きく盛り上がる！インドカレー屋の出店や農家から仕入れた野菜の直売、中学校のダンス部による発表や総合型地域クラブによるスポーツ体験、大勢の皆さんにふれあいまつりの盛り上げに役を買っていただいております。

また、運営面で協力いただいているボランティアの皆さんにも感謝！地域包括支援センター中央本町による「健康測定」やパソコンの悩み相談を聞くITサロンボランティアや、今年から参加の高校生ボランティアなど、多くの地域の皆さんに支えていただきながらこれからも続いていきます。

地域の皆さんも
一体となって
盛り上げます！

*ふれあいまつりの詳細は、折込みのプログラムをご覧ください！